

環境配慮型屋上防水層保護仕上材

HPトップ®



HP TOP



スズカアイコ

HPTトップは、各種建築物の屋上防水層に最適な、アクリル変性エマルジョン型塗料です。防水材の伸縮に追従し、耐水性、耐候性及び密着性に優れた環境にやさしい露出防水層の保護仕上材です。

1. 軽歩行用塗料(骨材入り)

HPTトップ.S

● 標準施工仕様

工 程	素 地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系 塗膜防水材
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。				
HPTトップSカラー塗り 0～3%清水希釈		0.5～0.75kg/m ² ×2回				
摘 要		塗装間隔：3時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレー(モルタルガン、リシンガン等)				

2. 薄塗型軽歩行用塗料(細骨材入り)

HPTトップ.FS

● 標準施工仕様

工 程	素 地	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層	ポリマーセメント系 塗膜防水材
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。				
HPTトップFSカラー塗り 0～3%清水希釈		0.4～0.6kg/m ² ×2回				
摘 要		塗装間隔：3時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレー(モルタルガン、リシンガン等)				

3. 非歩行用塗料(ペイントタイプ)

HPTトップ.P

● 標準施工仕様

工 程 \ 素 地		ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層
素地調整		ゴミ、埃、油分等の付着物を水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。			
上 塗 り	a.HPTトップPカラー 塗りの場合	0.1～0.15kg／㎡×2回	0.15～0.2kg／㎡×2回	0.2～0.25kg／㎡×2回	0.1～0.15kg／㎡×2回
	b.HPTトップPシルバー 塗りの場合	0.15kg／㎡×1回～2回		0.2～0.3kg／㎡×1回～2回	0.15kg／㎡×1回～2回
	c.HPTトップP輝シルバー 塗りの場合				—
摘 要		塗装間隔：2時間以上(23℃) 最終養生：24時間以上 塗装用具：ハケ、ローラー、スプレーガン			

・ポリマーセメント系塗膜防水材には、エフロ(白華)を生じますので塗装できません。

4. 各種防水材の推奨プライマー

製 品 名	ゴムシート	ゴムアスシート	砂付アスファルト	ウレタン防水層
アスファルトシーラー	—	0.1～0.2kg/m ² ×1回		

・素地がゴムシートの場合、窪みや不陸部分のゴミ、花粉、土、泥などが溜まりやすい箇所、塗膜の付着不良によりマッドカーリングと類似の現象を生じる場合がありますので、施工前に十分清掃してください。
・素地がゴムアスシート、砂付アスファルトの場合、アスファルト分の溶出、マッドカーリング現象(花咲現象)の発生抑制目的に上記プライマーの塗装をお奨めします。
※マッドカーリング現象：水溜まり部分や不陸調整が不十分で水の滞留しやすい場所などにおいて、花粉、土、泥などの堆積物が蓄積し、これが降雨や晴天によって膨潤と乾燥収縮を繰り返し、防水層表層をめくれ上らせる現象です。

・ウレタン防水層には、上記プライマーを必ずご使用ください。
・トップコート塗替え時、下地が脆弱及び吸込みが激しい場合は上記プライマーを塗装ください。

5. 施工上の注意事項

- ・砂付アスファルト上にアスファルトシーラーを塗布する場合、砂の形状により塗布量が多くなることがあります。
- ・ウレタン上にアスファルトシーラーを塗布する場合、事前にテスト施工を行い状態をご確認の上、HPTトップを塗布してください。
- ・カラーゴムシート上には塗装しないでください。
- ・塩ビシートへの施工に関しましては、別途御相談ください。

6. 荷 姿

HPTトップ.Sカラー

18kg/缶

HPTトップ.FSカラー

20kg/缶

HPTトップ.Pカラー

15kg/缶

HPTトップ.Pシルバー

15kg/缶

HPTトップ.P輝シルバー

15kg/缶

7. 標準色カラー見本

●F☆☆☆☆は、ホルムアルデヒドの放散等級を表しており、居室用途に制限のないことを表示しております。

HPTツツ.S	HPTツツ.FS	HPTツツ.P
●グリーンN (F☆☆☆☆)	●グリーンN (F☆☆☆☆)	●グリーンN (F☆☆☆☆)
●グレー (F☆☆☆☆)	●グレー (F☆☆☆☆)	●グレー (F☆☆☆☆)
●シルバーグレー (F☆☆☆☆)	●シルバーグレー (F☆☆☆☆)	●シルバーグレー (F☆☆☆☆)
●ライトグレー (F☆☆☆☆)	●ライトグレー (F☆☆☆☆)	●ライトグレー (F☆☆☆☆)
●レッド (F☆☆☆☆)	●レッド (F☆☆☆☆)	●レッド (F☆☆☆☆)
●シルバー (F☆☆☆☆)	●輝シルバー (F☆☆☆☆)	

8. 塗料の物性

※別途、S、FS、Pともに特注色の御相談にも応じます。
※色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上りと色・つやが多少異なりますのでご了承ください。

項目 種別	試験結果					試験方法
	Sカラー	FSカラー	Pカラー	Pシルバー	P輝シルバー	
耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 6.2による水道水浸漬4日
耐アルカリ性	異常なし	異常なし	異常なし	—	—	JIS K 5600 6.2による飽和Ca(OH) ₂ 水溶液浸漬4日
耐酸性	異常なし	異常なし	異常なし	—	—	JIS K 5600 6.2による3%H ₂ SO ₄ 水溶液浸漬4日
耐湿潤冷熱繰り返し性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 7.4による条件1 10サイクル
促進耐候性	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600 7.7によるキセノンランプ法 サイクルA500時間

9. 関連商品

品 名	内 容	荷 姿
HPトップNSカラー	難燃型塗料 (軽歩行用)	18kg/缶
アスファルトシーラー	1液湿気硬化型ウレタン樹脂系塗料	16kg/缶

10. 使用上の注意事項

- ① 塗料は、密栓して冷暗所で保管すると共に、凍結させないようにしてください。高温に長期間放置すると、変質し使用できなくなる場合があります。
- ② シルバーには活性な顔料が使用されており、高温になる場所での保管やセメントへの混入は避けてください。反応によりガスが発生する恐れがあります。尚、容器には特殊な細工がしてありますので、横倒し、逆さ積みは絶対にしないでください。
- ③ HPトップS、HPトップFSは重質の骨材が配合されておりますので、やむをえず水で希釈（清水で3%以下）する場合は速やかに使い切ってください。沈降によりハードケーキになる場合があります。
- ④ 水性塗料のため次の注意をよく守って使用してください。
 - 5℃以下、湿度85%以上になるような場所での施工はしないでください。低温時には特に乾燥が悪くなりますので、規定量の範囲内で、できるだけ薄く均一に塗付してください。
 - 降雨、降雪、結露等が予想される場合は施工しないでください。
 - 使用前によく攪拌してください。出来るだけ泡が混入しないように注意してください。
 - 塗装にする前に、被塗面の埃、油分等を十分に取り除いてください。
 - 塗装具はハケ、ローラー、スプレーガン等が使えますが、使用後は乾かないうちに水で洗ってください。
- ⑤ ノンタールウレタン防水材及びタール分がブリードするような防水層に使用する場合は、必ずアスファルトシーラーをプライマーとして使用してください。
- ⑥ タールウレタン防水材への施工はしないでください。アスファルトシーラーでもブリードする場合があります。
- ⑦ HPトップSを一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合があります。過度の厚塗りは避けてください。
- ⑧ アスファルトシーラーは溶剤系ですから火気に十分注意してください。塗装用具は作業後速やかにラッカーシンナー等で洗浄してください。缶内への湿気の混入を避け開栓後は速やかに使い切ってください。
- ⑨ 知見のない防水材に施工するときは必ず施工前に予備テストを行い、異常のないことを確かめてからご使用ください。
- ⑩ 弊社仕様書以外の仕様によるクレームには一切責任を負いません。
- ⑪ 施工完了後、初期に急激な降雨にあった場合ドレン部等に泡が発生することがありますが、この泡は塗膜中の界面活性剤によるものであり安全性は高く塗膜の異常によるものではありません。
- ⑫ 屋上の雨水がドレンに流れず直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色目もしくは目立ちにくい色目で塗装してください。
- ⑬ 防水層の破断・ふくれ・はがれ・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- ⑭ 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- ⑮ 詳細な内容が必要な時は、安全データシート（SDS）をご参照ください。
- ⑯ カタログに記載されていない素地や塗装仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎059-397-2187 FAX059-397-6191
☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
仙台出張所 ☎0224-82-1633	郡山営業所 ☎024-956-3306	新潟営業所 ☎025-271-2345
北関東営業所 ☎0493-57-0020	千葉出張所 ☎043-486-0096	多摩出張所 ☎042-581-2155
金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825	三重出張所 ☎059-397-6115
播磨営業所 ☎0791-67-1468	松山出張所 ☎089-905-6733	熊本出張所 ☎096-237-3342
宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-264-3661	沖縄営業所 ☎098-836-7399

取扱店